

まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

屋久島自然大学参加者募集中!

屋久島の豊かな自然の中で感性を磨いたり、伝統文化や自然と共存してきた歴史に触れたりすることで、確かな技術と専門的な知識を持った「自然体験活動」や「里のエコツアー」の指導者を育成するため、「屋久島自然大学」を開講します。詳しくは財団ホームページをご覧ください。

- 第1回：令和3年9月5日(日) 「全体ガイダンスとSDGsで見る世界と屋久島」
- 第2回：令和3年10月10日(日) 「『屋久島の川に魚がない』は本当か? 河川の生物調査体験」
- 第3回：令和3年11月13日(土) 「山で暮らす昆虫観察」
- 第4回：令和3年11月27日(土) 「登山飯の調理法講座/山における救急救命」
- 第5回：令和3年12月4日(土) 「卒論作成 ~屋久島案内企画~」

対象：18歳以上で全5回のプログラムに全て参加できる方
 定員：20名程度
 参加費：1人 10,000円
 申込方法：以下の問い合わせ先までお電話ください。
 問い合わせ先：村センター 事業課 TEL 0997-42-2900
 備考：新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては延期もしくは中止とする場合があります。




公益財団法人
屋久島環境文化財団

令和3年度第1回屋久島研究講座開催

魚たちのさまざまな暮らしとその不思議

~屋久島町口永良部島におけるこの10年の研究から~

講師：坂井 陽一(広島大学教授)

日時：令和3年8月27日(金) 19時から20時30分まで 

場所：第1会場 村センター(宮之浦)
第2会場 オンライン(ZOOM)

定員：各会場100名

申込：第1会場はお電話でのお申込み
第2会場は財団ホームページでのお申込み

申込期間：8/1~8/25

★各会場100名を超える場合はキャンセル待ちとなります。

★オンラインについては事前に接続テストを予定しています。詳細はメールにてお知らせいたします。

★受講証明書の必要な方はその旨申し込みの際にお申し出ください。

★なお、新型コロナウイルスの感染状況により中止する場合がございます。

【問い合わせ・申込先】

村センター 事業課 TEL 0997-42-2900



特別企画展示

「THE 昆虫展&貝殻展」開催中!

現在、文化村センターでは昆虫の展示と貝殻の展示を同時開催中です。

昆虫の写真を展示し、解説も各種類に用意しました。更に、標本も併せて展示しており“本物が見られる昆虫写真展”となっています。

貝殻展は、屋久島で見られる貝のうち、海辺で拾われたものを中心にその一部を紹介しております。

ぜひこの機会にお越しください。

期間：8月31日まで

場所：村センター交流ホール

入場料：無料

昆虫担当：渡邊 貝担当：中村




★今年3月に財団発行の『屋久島の昆虫ガイドブック』が2回目の改訂をしました。880円(税込)で販売中です。

★『屋久島の海岸貝類相』が500円(税込)で販売中です。


自然文化・体験セミナー「やくしま水旅」募集中!

屋久島の「水」をテーマに、島内の滝や海、清流を巡ります。興味がある方は、ぜひ参加してみませんか。

日時：9月18日(土)~9月20日(月) 2泊3日

内容：シュノーケリング・沢登りなど 

定員：15名(先着順)

対象：18歳以上 締切：9月3日(金) 

参加費：21,000円(宿泊費、食事代、保険料など)

【問い合わせ・申込先】

研修センター TEL46-2900 担当：中村

鹿児島県では、文化村センター内の喫茶コーナーの入居者を募集しています。詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。



鹿児島県環境林務部自然保護課自然保護係

担当：弥栄 TEL 099-286-2613 FAX 099-286-5546

インストラクターだより

『未来と向き合う夏休み。自由研究×SDGsにチャレンジ！』

インストラクター 福元やっくん

最近いたるところで耳にする SDGs。SDGs とは、世界をよりよくしていくための 2030 年までの目標です。地球上の資源を未来に残し、問題を解決して、皆が幸せに暮らせる世界をつくるために、現在世界各国の人たちが取り組んでいます。持続可能な開発目標「SDGs」は教育の現場でも取り上げられ、子どもたちにとって SDGs は思いのほか身近な存在となっています。

夏休みも中盤になり、自由研究に悩む保護者も増えてくる時期ではないでしょうか。最近では授業でも SDGs について詳しく教えていることから、今年自由研究は SDGs に関連するトピックに挑戦してみるのはいかがでしょうか？SDGs と聞くと難しく感じてしまいますが、「ろ過実験・段ボールコンポスト・省エネ活動・ゼロウェイスト・生き物調査」など親子で気軽に取り組めるものもいろいろあります。自由研究として SDGs をテーマにする、そのこと自体が SDGs の取り組みでもあります。未来と向き合う夏休み。自分に出来ることを考えてみませんか？



☆ ☆財団の活動報告☆ ☆

『海辺 de デイキャンプ』 7/4(日)

海の楽しみ方を学ぶことをテーマに、9 名の方に参加していただきました。当初は栗生の塚崎海岸での実施を予定していましたが、海況が不安定であったため、一湊の元浦海岸で実施しました。アオウミガメやクマノミなど、沢山の生き物にも出会うことができました。



『第 1 回子どもエコ隊』 7/10(土)~11(日)

今年は SDGs を年間テーマに 20 名の隊員が集まりました。SDGs ボードゲームや夜の生物観察、沢登り、陶芸教室などを行いました。

「友だちがたくさんでき
たし、SDGs のことが楽し
くわかった、これからの
活動が楽しみです。」な
どの感想が聞かれました。



【村センター・研修センター休館日】

○8 月は毎日開館しています。

○9/6(月)、13(月)、21(火)、27(月)



【屋久島を思う】

インストラクター小松 純哉

2016 年大学卒業後、私は人との出会いや日本の絶景を求めて自転車で旅に出ました。旅を始めて 2 ヶ月、私は初めて屋久島の地に足を踏み入れました。「世界自然遺産」「縄文杉」くらいしか知らなかった私は、島の方々に教えていただきながら屋久島の魅力に触れました。

半年の旅を終えて振り返ると、一番脳裏に刻まれていたのは屋久島の景色と島民の温かさ。また行きたいなあ、としみじみしているときに見つけた屋久島の求人情報。何かを感じた私は、その一年後に屋久島に住んでいました。

昨年、国際ボランティアに参加するため屋久島を出国になりましたが、コロナ禍に見舞われ日本から出ることができませんでした。そして今年 4 月、インストラクターとして屋久島での新たな生活が始まりました。島の方々にこの話をすると必ず言われる言葉があります。「屋久島に呼ばれたんだね」。奇しくも、求人情報を偶然見つけたりコロナ禍で海外に行けなかったり、さらには屋久島が世界自然遺産に登録されたのは、私が生まれた年です。これらを思うと、私は本当に屋久島の不思議な力に引き寄せられたのかもしれない。もしかするとみなさんもこの【神秘的島】に呼ばれたのではないのでしょうか…。

